

ロックライミングマシン (RCM-06) による コンクリート壁面ハツリ

中性化の進んだコンクリート部分の壁面取り壊し (t = 50 mm)

1 作業能力

1 _ 1 作業能力の算定

$$Q = V * E \text{ (m}^2 / \text{h)}$$

Q : 運転時間当たり作業能力 (m² / h)

V : 運転時間当たり基準作業量 (m² / h)

E : 作業効率

$$H : 1 \text{ m}^2 \text{ 当たり運転時間} \quad H = \frac{1}{Q} = \frac{1}{V * E} \text{ (h / m}^2 \text{)}$$

1 _ 2 運転 1 時間当たり基準作業量 V

基準作業量

(m² / h)

運転時間当たり基準作業量 V
50 m m
10 m ²

1 _ 3 作業効率 E

作業効率

E
0,5 ~ 0,7 ~ 0,9

- (注) 1 作業効率は、次の諸条件を考慮し、値を決定する。
- 作業場所の広狭
 - 構造物の形状
 - 連続作業の可否
 - 作業現場での妨害等による作業の難易
- 2 取り壊し作業日当たり運転時間は、6時間とする。

2 ロックライミングによるコンクリート壁面ハツリ歩掛

(1 m²当たり)

作業区分	数量	単位	単価
ロックライミング運転時間当たり 単価表 (R C M 0 6)		h	
壁面切削機 (運転日当たり換算値 ÷ 5 . 5 時間)		h	
小器材費	6	%	
計			

* 小器材費は、ビット消費費等を含む。

3 ロックライミング、アンカーワイヤー取り付け撤去歩掛 (準備工)
別途計上

4 重機の搬送費、道路養生等は、含まれない。

参考積算

ロックライミングによるコンクリート壁面ハツリ歩掛 50mmハツリ

作業能力

1-1 作業能力の算定

$$\begin{aligned}
 Q &= V * E \text{ (m}^2\text{/h)} \\
 &= 10 * 0 . 7 \\
 &= 7 \text{ m}^2\text{/h}
 \end{aligned}$$

Q : 運転時間当たり作業能力 (m²/h)
 V : 運転時間当たり基準作業量 (m²/h)
 E : 作業効率

$$\begin{aligned}
 H : 1 \text{ m}^2\text{当たり運転時間} \quad H &= \frac{1}{Q} = \frac{1}{V * E} \text{ (h / m}^2\text{)} \\
 &= 1 / (10 * 0 . 7) \\
 &= 0 . 142 \text{ h / m}^2
 \end{aligned}$$

(1 m²当たり)

作業区分	数量	単位	単価
ロックライミング* 運転 R C M 0 6	0.142	h	31,646
壁面切削機	0.142	h	4,418
小器材費	6	%	5,120
計			5,427

* 準備工等は、別途計上する。